

2 町民が町に愛着を持ち、PRできるようになることで、新しいひとの流れをつくる
 ⑥「I♥IKEDA」町民による池田の魅力発信

池女会のメンバーの意見から、池田町には魅力がたくさんあるのに、それを町民が知らないということが課題としてあがった。そこで、自分たちが住む池田町のすばらしい部分に改めて気づき、その魅力を町外へも発信できるようになることを目的として、町民に向けた情報誌を作成することとし、掲載写真を募集した。

情報誌は特に若い女性にターゲットを絞り、今までパンフレットや冊子を手にとらなかった層に見てもらえるよう、今までに無かった女性目線のデザインで作成した。

池女会参加のメンバーと池田高校の高校生5名でI♥IKEDA編集委員会を立ち上げ写真の募集、編集に取り組んできた。

●実施内容

- ・I♥IKEDA編集委員会の結成 ⇒ 池女会3名・池田高校生2名・町職員5名 計10名
- ・池田町の魅力ある写真を町民から募集 ⇒ 32名 121枚応募
- ・編集委員会でデザイン、写真選定、校正を行う ⇒ 編集委員会8回開催(2/29現在)

●KPI

町民からの投稿数 〈目標〉2016年3月 100件 ⇒ 〈結果〉121件

●進捗状況

- ・写真募集 12月20日(日)～1月15日(金)

池田町の魅力ある写真、私の好きな池田町「I♥IKEDA」として募集。写真を応募しようとすることによって、応募者が改めて池田町の魅力を探し、見直すきっかけになることも目的とした。

写真募集のチラシ・ポスターを作成し、池田町広報とともに全戸配布、町内の施設や店などに編集委員が掲示の依頼を行った。また、町外も含めて人の集まる場所(大垣駅、ロックシティ、ビッグエクストラ池田店等)にて、チラシ配りを行った。32名121枚応募があり、そのうち町外からの応募は5名であった。



・情報誌編集

編集委員主導に「若い女性が思わず手にとりたくなるような冊子」を目指し、特にデザインには力をいれている。

応募写真をベースに詳細な情報などの取材も行い、池田町に住んでいる人が、池田町の良さを再発見出来るような内容を目指した。

編集委員に池田高校生が参加してくれていることもきっかけに、情報誌の中に池田高校のページも設けた。なかなか知ることができない高校生たちの意外な一面や、高校の素晴らしい取り組みなど、町内にあるけれども、なかなか知る機会がない池田高校生達の姿を紹介している。



写真の募集期間が大変短く、冬の期間であったため、写真の題材が多い時期に募集したかった。

情報誌の編集も慌ててまとめたような形になってしまったので、引き続き来年度も情報誌簡易版を作成する際には、写真の募集、編集についてじっくり時間をかけられるよう進めていきたい。

情報誌第1号は平成28年5月号広報とともに町内全戸配布の予定。



●今後に向けた課題

- ・新規編集メンバーの発掘
- ・写真の募集の仕方(風景写真の提出が多かったため、温泉や飲食店など、編集委員が取材に行く必要があった)
- ・簡易版の内容と今後の作成方針